



右が9条の碑、左は銘板（実行委員会構成団体名）

百里・憲法9条の碑

建立報告

2024年4月

「百里・憲法9条の碑」建立実行委員会

除幕式にて

百里・憲法9条の碑の除幕に当たって、建立実行委員会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

この百里平和公園に憲法9条の碑を建てようという話の直接の始まりは、2021年の憲法記念日にジャーナリストの伊藤千尋さんが水戸で講演をした際に、憲法9条の碑が全国各地にある、海外にもあるという話をされたのを伊達郷右衛門さんが聞いて、この百里に立てるという発想を得たところからでした。たまたま反対同盟の梅澤さんのご親戚の石屋さんがそのために使える石を提供してくれるという話があり、百里に関係の深い5つの団体が呼びかけて実行委員会に加入する団体を募り、募金を集めて建立に至ったものです。実行委員会には31団体が参加しています。

昨日までに県内外の82団体、534名（最終的な数は3頁に記載）の方々から募金が寄せられ、今日の建立に至りました。石材の提供をいただいた、坂入利夫様、工事の施工をいただいた大吉貴様、ありがとうございました。そのほか、建立に関係された全ての皆様、そして募金をお寄せいただいた団体・個人の方々に心から感謝申し上げます。

伊藤千尋さんによれば、今全国に33の憲法9条の碑があるそうですから、この碑は34個目となります。しかし、自衛隊の基地のど真ん中にできるというのは全国初めてということです。

この碑には、碑文にもあるように、百里の農民とこれを支援する闘いを広く市民に知ってもらい、後世に伝えるという意味が込められています。この百里平和公園の土地自体、「戦争のためには土地は売らない」とたたかってきた反対同盟の農民と、これを支援する百里基地反対連絡協議会をはじめとする運動の力で守られてきた土地です。こうして、今や百里基地は、「自衛隊は憲法違反」という大看板に見下ろされ、憲法の条文を刻んだ石碑によって誘導路がくの字に曲げられているという世界にも例のない基地になったのです。

今、ウクライナで、ガザ地区で、この瞬間にも、多くの命が戦争によって奪われ続けています。国際法に違反した侵略行為やジェノサイドは強く糾弾されなければなりません。

国内では、安保法制の強行によって集団的自衛権の行使が制度として認められたばかりか、安保3文書によって長射程ミサイルなど反撃能力・敵基地攻撃能力の保有が進められています。軍事費を5年間で2倍にするという岸田内閣の軍拡路線は、安全保障の名の下に国民生活を犠牲にするものです。

しかし、こんな時代だからこそ、いかなる国際紛争も武力による解決をしてはならないという憲法前文と9条の精神が、現実の国際政治を動かす力を発揮することを強く期待したいと思います。

この先、さまざまな困難や紆余曲折があっても、この日本が、いつかは、9条が理想とした、戦争も軍隊もない国となる日がくることを信じたいと思います。それは募金を寄せてくださった多くの方々の共通の思いであると思います。私たちに代わって、その日をしっかりと見届けてくれることを、この百里・憲法9条の碑に託しまして、除幕にあたっての挨拶とします。ありがとうございました。

2024年2月11日

百里・憲法9条の碑建立実行委員会
委員長 谷萩陽一

一九四六年十一月三日 発布
一九四七年五月三日 施行

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ひ、

第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

自衛隊は憲法違反

——百里農民の信念を引き継ぐ

ここ百里ヶ原に明治時代に入植した農民は、稲作には適さない荒れ地を手作業で開墾しました。やがて「天皇陛下のために、一週間後に立ち退け」と言われ、海軍航空隊の基地として接收されました。

戦後は満州から引き揚げてきた人々が開拓農民として入植し、地元の農民とともに「基地」を農地に変えて貧しいながらも平穏な日々を送ってきました。

ところが一九五六年、航空自衛隊基地の誘致が起こると事態は一変しました。農機具ひとつなく来年の種まで食べてしまう程に困窮していた農民の中には、政府の買収工作によって、土地を売り、百里を去っていく人もいました。しかし、「戦争のために土地は売らない」と決意した農民とそれを支援する「一坪地主」運動が全国に広がりました。

「基地」建設に反対する農民は、憲法九条に反する自衛隊基地建設は無効であると、一九五八年から「百里裁判」をたたかいました。最高裁は三一年後の一九八九年、憲法判断を避け、上告を棄却しました。この間、百里基地反対連絡協議会がつくられ、裁判を支援しました。

「百里基地」反対運動は、「自衛隊は憲法違反」の看板を設置し、「一坪地主」運動の力で誘導路を「くの字」に曲げさせ、今日に至っています。一九五八年以来、毎年「初午祭」を開催し、二度と戦争を起させない決意を新たにしてきました。

私たちは、平和的生存権を脅かし、憲法九条二項の「陸海空軍その他の戦力」に当たる自衛隊は違憲であるという百里農民の不動の信念を引き継ぎ、ここ百里平和公園の地に日本国憲法前文と九条の碑を建立するに至りました。

建立に際しては、多くの団体・個人の賛同を得ました。

二〇二四年二月一日

「百里・憲法九条の碑」建立実行委員会



石碑本体は縦120㌢、幅245㌢です。土台を含めた大きさは、高さ200㌢、幅300㌢になります。

石は、インド産の赤御影石です。表側には、日本国憲法の前文と9条が刻まれています。

裏側には、碑文「自衛隊は憲法違反 百里農民の信念を引き継ぐ」が刻まれています。

経過報告

2023年

- 9月19日 結成準備会
- 10月19日 第1回実行委員会
- 11月5日 チラシ(第1次、1万枚)作成・配布
- 11月9日 第2回実行委員会
- 11月17日 実行委員会事務局会議
- 12月1日 チラシ(第2次、3万枚)作成・配布
- 12月15日 第3回実行委員会

2024年

- 1月15日 記者発表(県政記者クラブ)
- 1月16日 第4回実行委員会
- 1月18日 東京新聞・記事掲載
- 2月11日 除幕式(初午まつりの日)
- 2月29日 第5回実行委員会
- 4月23日 第6回実行委員会

百里に9条の碑を!

賛同金を募集しています

日本が太平洋戦争に敗れて78年が経ちました。この敗戦の年に生まれた人もすでに78歳になり、日本国民の大半は平和憲法のもとで戦争をすることなく平和に暮らしてきました。文字どおり、戦前の戦争する国から平和の国に変わりました。国連加盟国193カ国で第2次世界大戦後、戦争をしなかったのは日本を含めて6カ国のみです。しかし、戦後のあゆみ「戦争放棄・戦力不保持」を謳った憲法9条は常に自民党・保守勢力から攻撃され、改悪の危機にさらされてきました。

一方、2004年には「国民一人ひとりが主権者」にならうと井上ひさしをはじめ9名の著名人が「9条の会」結成を呼びかけ、全国で7000以上の「9条の会」が発足し草の根運動が広がりました。こうした中で、岸田内閣は「安保3文書」に見られるように憲法9条を一言も触らず、大軍拡の道に踏み出しました。

私たちは、茨城の平和運動の宝でもある「自衛隊は憲法違反、9条を守ろう」と60年以上もたたき続けている百里農民の平和のこころを受け継ぎ広めていくために、「清走路をく」の字に曲げている百里平和公園に憲法9条の石碑を建立することを呼びかけるものです。



68年を超えて続く基地反対運動 基地の真ん中 平和公園 に建立します



☆ 「百里基地反対運動」のHPあります
「百里基地反対運動」で検索して下さい
「百里9条の碑」のページにリンクしています
<http://hyakuri.sakura.ne.jp>

「百里・憲法9条の碑」建立実行委員会

百里基地反対同盟、百里弁護団、百里平和委員会、百里の会、日本山妙法寺、茨城県平和擁護委員会、茨城県平和委員会、日本国民救済会茨城県本部、農民運動茨城県連合会、茨城県労働組合総連合会、原水爆禁止茨城県協議会、新日本婦人の会茨城県本部、茨城県商工団体連合会、茨城県民主医療機連合会、全日本年金者組合茨城県本部、憲法9条の会つくば、那珂9条の会、石岡地域9条の会、9条の会・ゆき、憲法9条牛久の会、憲法9条の会土浦、弁護士法人水戸翔合同法律事務所、社会民主党茨城県連合会、新社会党茨城県本部、日本共産党茨城県委員会

◆問合せ先◆ 「百里・憲法9条の碑」建立実行委員会

水戸市見川5-127-281「百里の会」奥付 電話:080-9457-6381 メール:hyakurip@gmail.com

賛同金

総額 3,647,376円
個人 918人 2,575,700円
団体 124 1,071,676円

支出

総額 2,719,082円 *4月23日時点
石碑の建立費 2,100,000円
銘板の作成費 385,000円
諸経費 234,082円

残金 928,294円

*この額から、冊子の印刷費・送料等を引いた残りは、百里基地反対運動のために役立てます。



「百里基地反対運動」webに「百里・憲法9条の碑」のページがあります。
<http://hyakuri.sakura.ne.jp>



憲法9条を目に見える形にしよう! (除幕式メッセージ)

現在の平和を確固たるものとし、未来の平和の構築のために、と、9条の記念碑を建てる運動が全国に広がっています。

このたび百里基地地に9条の碑が完成しました。

昨年12月の奄美大島に続き、全国で34番目の9条の碑です。戦争の象徴たる基地の真ん中に平和の象徴たる9条の記念碑がそびえるとは、すこぶる痛快ではありませんか。

皆さんの努力に、大きな敬意と心からのお祝いを申し上げます。

このところウクライナの戦争、パレスチナ紛争と相次ぐ争いで多くの人々の命が失われています。

憎しみが憎しみを呼ぶ戦争は、お互いを破滅させます。

憎しみの連鎖を断ち切り、世界を平和にするにはどうしたらいいか。

その答えを私たちは日本国憲法9条と前文として世界に示しました。

完成した碑を活かしつつ、今後とも誇りを持って9条の運動を繰り広げましょう。

2024年2月11日 伊藤千尋

賛同者 (個人918人)

*名簿掲載は782

相沢一正	池田召子	井上政美	大石京子	岡野忠	片山千寿子	木嶋洋太郎	後藤義昭	谷川宏子	柴田充敏
相沢静男	以後崎和郎	井上町子	大内逸雄	岡野千恵子	嘉藤田孝	岸本正人	古徳章	佐々木晶子	柴美奈子
会沢雄策	井坂章	井上万里子	大内久美子	岡野幸男	加藤登美	北嶋誠	古徳正義	佐々木征	渋谷俊昭
合田浩子	石井明	今井健治	大内弘隆	岡部寿朗	加藤正敏	北村弘子	小林和榮	笹嶋武	島田きみ子
愛久澤トキ	石井恵美子	今井陽子	大枝良子	岡部泰子	加藤光則	北郷哲敏	小林喜美子	笹嶋富士子	島田修一
青木勇	石井和美	今村典子	大江俊秋	岡村瑞比古	加藤岑生	木村泉	小林恭子	佐藤梅子	島田節子
青木栄子	石井榮	入江毅	大川眞一	岡本弘吉	金澤澄江	木村静枝 (鹿嶋市)	小林清	佐藤英一	島田守雄
青木登茂子	石井時夫	色川巴	大川裕正	岡山伸一	金沢敏行	木村静枝 (那珂市)	小林賢一	佐藤けい子	下村恵子
青柳幸子	石井ヒロ江	岩清水理	大川レイ子	小河孝男	金谷留美子	木村俊明	小林茂	佐藤恵子	下村直敏
赤荻葉子	石上俊雄	岩清水昌子	大嶋恵美子	荻島光明	金子由夫	木村マリ子	小林真美子	佐藤武子	新藤保男
秋山和代	石川アヤ	岩間雅美	大島一明	荻野剛	金田早苗	清田真治	小林良一	佐藤忠克	新保芳栄
浅井紘一	石川真保	上田喜美江	大隅亮司	荻谷祥子	兼田昭一	切石トシ子	小松豊正	佐藤俊宏	新聞仁
朝比奈講一	石倉黎子	宇佐美景子	大瀬良幸子	奥貫定男	金光いつか	霧生和子	小室久美子	佐藤弘	新聞芳子
朝比奈範子	石毛知子	宇佐美憲子	大曾根勝正	奥村忠義	加納静	草間暁子	小室貞夫	佐藤文雄	数藤和義
浅見和子	石毛良作	宇田貴子	大曾根幸子	奥村良子	叶谷正	久保邦子	小室たか	佐藤正臣	数藤まち子
芦田洋治	石崎ひな子	内田礼子	大曾根紀雄	長田満江	鎌田昭三	久保幸子	小室隆夫	佐藤正弘	菅井起代江
姉子繁	石島巖	内村祐子	太田昭臣	小澤泰子	加茂誠司	久保孝典	小室博義	佐藤良子	菅野法子
阿部きよ子	石橋偕子	内山いづみ	大高みよ	小島あずみ	軽部英司	久保田俊雄	小室裕子	眞田絹代	菅野政吉
阿部功志	井島和美	宇野修	大滝栄子	小島修	河井紀久子	久保とも子	金剛寺博	佐野太一	菅谷勝彦
安部輝夫	伊豆原則子	宇野木紀代子	大滝牧子	小島恭子	川井宏子	熊谷喜美江	近藤輝男	佐野安希子	菅原幸子
阿部眞庭	磯貝京子	宇野隆子	大滝誠	小島玲子	川井ミツエ	久米孝典	齋藤和男	沢口彰紀	菅原佳枝
阿部まり子	磯崎武志	宇野照雄	大竹喜代子	小田倉純子	川上澄	栗田優子	齋藤哲	沢田石京子	菅原久代
安部光子	井田恵美子	宇野信子	大竹勉	小田倉正	川上春雄	栗又衛	齋藤七重	沢田克彦	杉江彰
新井幸子	井田晋	梅澤田鶴子	太田雅久	小田倉陽子	川嶋永子	来栖恵子	齋藤弘行	沢田和栄	杉本博美
荒井富枝	市川和子	梅澤優	大塚三郎	小田島紀代子	川島孝夫	来栖敏行	齋藤房雄	沢原勇三	杉本美江
新井裕二	市川忠夫	江上彰	大塚信茂	小貫悦子	川澄正明	黒沢一也	酒井進	椎名定	杉山恵美子
荒井陽一	市川洋美	江口和子	大津桂一	小沼愛子	河野恭子	桑名みちる	坂入利夫	椎野隆	杉山佐世子
荒川照明	市毛晶	江口正	大津彩良	小沼洋	川野弘子	鯉淵浩次	榊賢	潮見垂斗矛	杉山とし子
荒木睦子	市原重子	江口正博	大津豊	小野瀬翔	河野正博	鯉淵康子	榊原徹	志賀英二	杉山英之
安司末雄	市原進	江尻加那	大名章文	小野瀬良武	川又俊水	河野忠明	坂田光穂	志賀高昭	杉山浩
安蔵朱美	井手口文子	江尻大祐	大名美恵子	小野浩	川又保男	国乗和夫	坂巻澄夫	重藤章敏	瑞慶覧淳
飯泉秀雄	井手口行夫	江田吉友	大貫光一	小原陽子	川村孝三	国府田喜久男	坂巻敏夫	師田正男	須崎武則
飯田三年	出澤兼弥	越後谷進一	大森正喜	加賀美哲也	川面圭司	小笹八重乃	坂本公則	設楽晴男	鈴木潔
飯田茂	井出由美子	江原健太	岡崎孝敬	加賀美理帆	神原英子	小管正博	相楽衛	篠崎房枝	鈴木潔子
飯田忠夫	伊藤悦子	恵利いつ	岡崎秀子	角田京子	神原要	小瀧豊美	相楽良子	篠原温	鈴木研
飯塚貞夫	伊藤宣行	遠藤忠平	岡田勝弘	影山秀夫	神原理恵	児玉尚子	佐川廣文	篠原千鶴子	鈴木さと
飯塚則子	伊藤恵智子	遠藤俊夫	尾形哲男	籠谷梅香	菊池清彦	児玉正文	佐久間伸一	篠原敏子	鈴木宣直
池澤賢也	稲田敏之	遠藤憲子	岡田安正	風間道夫	菊池義弘	児玉力造	櫻井恵子	篠原睦	鈴木崇弘
池田悦子	井上仁志	遠藤勝	岡田佳之	風見誠	岸田郁	後藤悌三郎	桜井信雄	柴功	鈴木貴之
池田茂	井上裕恵	遠藤むつよ	岡野一男	加増充子	木嶋婦規枝	後藤美千代	桜井より子	柴崎英子	鈴木猛

鈴木武	高下久恵	田中サツ子	富田秀子	根本道太郎	平野幸子	細田正幸	三浦譲	谷萩陽一	吉成孝夫
鈴木龍雄	高島静江	田辺あい子	富田正明	根本利津子	平野享	細山美好	見越杏梨	谷萩美智子	吉成道子
鈴木龍男	高栖敬	谷口誠一	富山勝	野坂さち子	平松修	堀井慎一	三沢寿喜	山内絢子	米森瑛子
鈴木敏則	高洲英子	種田和敏	友部敏夫	野崎浩司	平山知子	堀江恭子	水野一成	山内かづ子	米森逞輔
鈴木智子	高田泰明	玉造順一	友部レイ子	野沢博	平山守	堀江恵子	水野秧一郎	山形信嗣	吉成好信
鈴木尚子	高田敬	田村武夫	豊島五子	能勢郁夫	姫田晶子	堀江仙三	三井富美代	山形由美子	若林志津子
鈴木信夫	高梨幸子	田村チエ子	内藤功	野浜守	蛭田美咲	堀江鶴治	南邦美	山口了	涌井義郎
鈴木秀幸	高野愛子	田谷恭子	永井章子	野本茂	美留町洋治	堀江日出子	宮武宇也	山口さなえ	涌井義郎
鈴木弘考	高埜栄治	田谷武夫	長尾和博	萩野谷恭子	深澤冷子	堀越道男	宮間千里	山口澄江	和田朋亮
鈴木博久	高野一寿	近澤美樹	中川明子	萩原正夫	深町俊光	堀孝子	宮丸千恵子	山口清吉	和田直子
鈴木宏哉	高野衛	筑摩鐵男	仲澤悦子	伯田義昭	深町まつ江	堀義宏	宮本博好	山口孝	渡辺健児
鈴木正彦	高橋昭雄	千歳早苗	仲澤實	橋本次生	福島万喜子	本田和成	向殿邦芳	山口ひろ子	渡辺しぐれ
鈴木道夫	高橋キエ子	千葉達夫	中島みち子	長谷川和夫	福田旦男	本田君江	武藤千鶴子	山口みどり	渡辺昭七
鈴木美代子	高橋福重	塚越恵子	中田美佐子	長谷川幸介	福原正隆	本多覚	村上志保	山崎彰子	渡辺智男
須田達也	高橋政子	塚原千枝子	中田弥生	長谷川廣志	藤井学昭	本田精一	村上達也	山崎行康	渡辺まき子
須田美智子	高橋美代子	塚本美和子	中西トク子	長谷川佳子	藤井茂夫	本田忠弘	村山恭	山澤捷子	渡辺雅夫
須藤和行	高橋泰雄	津久井正	中西則子	長谷部ミイ	藤枝憲一	本多則彦	室谷啓子	山田修一	渡辺義男
須藤摂子	高久清	佃恵子	中西裕一	羽田伸一	藤枝茂雄	本田真	本石章司	山田節夫	綿貫洋一
須藤徹也	高見沢伸子	佃春正	中庭次男	畠中秀明	藤岡典子	本間利子	本橋隆一	山田広子	和田洋
砂田文子	高見沢嘉子	柘植秋男	長沼皖司	羽鳥茂	藤咲芙美子	真家安朗	靱山庄子	山田博子	渡部三郎
瀬尾久男	宅田潤司	辻井英雄	中野孝一	花方良夫	藤崎優子	前田清	森泉弘子	山田美枝子	和田幸雄
関口幹	田口栄	對馬芳	中野幹雄	花島進	藤田嘉昭	前田修一	森内利典	山田実	水戸翔合同
関口正司	田口俊彦	土田記代美	中原東郎	服部成雄	藤田隆光	前田誠治	森恵美子	山田宗敏	法律事務所
関口文子	竹内有子	土田倫理江	中村敬	花山知宏	藤谷秀子	益子絹枝	森川良夫	山田康彦	有志
関静花	武尾幸子	土屋佳代子	中村みずき	羽田定夫	藤田光義	益子須美子	森下美代子	山中たい子	
関谷宣	武田孝久	堤谷てる子	中村泰子	濱野一	藤巻治雄	増田洋子	森島暢子	山中康男	
関田正光	武田照子	出井和子	中村洋子	林田美代子	藤本明美	増山みゆき	森澄子	山本千秋	
関戸勇	竹ノ内直美	出口哲郎	長山喜一	林恒雄	藤原美子	町田正昭	森田秀人	湯原和子	
関戸秀子	竹松美登里	手島昌己	長山重道	林信行	二見伸明	松浦和子	森田幸雄	湯原玲子	
関根裕子	竹村茂	寺門光次	中山忠克	林義雄	船橋秀彦	松浦光子	守屋成一	湯本文夫	
関光雄	田沢剛	寺沢悦子	中山熙之	原田英治	古井光子	松崎憲治	矢口昭夫	横井美喜代	
瀬戸山道子	館定男	寺田正之	中山文夫	樋口美代子	古川純義	松島悟	矢口幸恵	横倉きん	
相馬光一	立花和雄	照山佳子	名越真理子	人見幾子	古沢朋子	松嶋茂男	安江健	横島節	
添野公雄	橘勝美	遠山千恵子	奈良達夫	人見忠男	古沢善行	松本明子	安清次	横田明	
藺部二三雄	立原健甫	所美江	西原彰夫	檜山優介	古橋宏基	松本聖子	安田公三	横山秋子	
染谷隆	立原義男	戸塚育甫	西山典子	平岡房子	宝利鈴子	松本裕樹	安留紗久子	横山和夫	
染谷道子	伊達郷右衛門	飛田元雄	似田貝聖	平島千恵子	星野忠興	間中静子	安本真理子	吉川かし子	
平範男	伊達比佐子	富田知子	二瓶光弥	平島秀夫	星良光	真山策効	谷田部由紀	吉川秀樹	
高波二郎治	田中恭子	富田信夫	根本勝雄	平田久男	穂積妙子	丸町孝子	矢田部礼子	吉田千恵	
高木昌	田中清子	富田繁昌	根本仁	平戸治夫	穂積怜	三浦克洋	柳岡修二	吉田正光	

賛 同 団 体 (124)

I女性会議茨城県本部	「憲法9条」つくばみらいの会	土浦労連
阿見平和の会	江東区退職教職員の会	東京・文京平和委員会
阿見町九条の会	古河市9条の会	友部平和の会
潮来市職員組合	国民救援会那珂支部	取手九条の会
茨城県高等学校教職員組合	J M I T U茨城地本	取手平和委員会
茨城県医療労働組合連合会	鹿行平和委員会	那珂九条の会
茨城県厚生連労働組合西南支部	下館平和委員会	那珂市平和委員会
茨城県厚生連労働組合高萩支部	社会民主党茨城県連合	日本共産党茨城県委員会
茨城県厚生連労働組合土浦支部	新社会党茨城県本部	日本共産党神栖支部
茨城県厚生連労働組合取手支部	真宗大谷派西円寺	日本共産党利根町支部
茨城県厚生連労働組合なめがた支部	新日本婦人の会茨城県本部	日本国民救援会茨城県本部
茨城県厚生連労働組合水戸支部	新日本婦人の会牛久支部	日本国民救援会常陸大宮支部
茨城県商工団体連合会	新日本婦人の会かすみがうら支部	日本国民救援会ひたちなか支部
茨城県地域人権運動連合会	新日本婦人の会筑西支部	日本国民救援会水戸支部
茨城県西農民センター	新日本婦人の会つくば支部ゆりのき班	日本国民救援会結城支部
茨城県平和フォーラム	新日本婦人の会つくばみらい支部	日本山妙法寺
茨城県民主医療機関連合会	新日本婦人の会東海支部	日本平和委員会
茨城県立学校退職教職員の会	新日本婦人の会常陸大宮支部	農民運動茨城県連合会
茨城県労働組合総連合	新日本婦人の会ひたちなか支部りんどう班	はばたき友の会
茨城大学有志の会	新日本婦人の会守谷支部	東村山新婦人平和部
茨城中央農民組合	新日本婦人の会守谷支部ゆずり葉の会	常陸太田平和の会
茨城平和擁護県民会議	新日本婦人の会龍ヶ崎支部	ひたちなか平和の会
うしく平和の会	杉並平和委員会	常陸野農民センター
うちはら平和の会	すずき産地	百里基地反対同盟
うぶすな法律事務所	全港湾労働組合	百里平和委員会
NPO法人ひなたぼっこ	全日本年金者組合つくば支部	ふじしろ平和の会
「核兵器廃絶」署名推進取手の会	全日本年金者組合常陸大宮支部	部落解放同盟全国連合会茨城県連合会
鹿嶋九条の会	全日本年金者組合ひたちなか支部	平和の会しもつま
かすみがうら9条の会	全日本年金者組合茨城県本部	水戸西部市民9条の会
かすみがうら平和の会	全日本年金者組合牛久支部	水戸西平和の会
加藤・藤本法律事務所	全日本年金者組合下館支部	水戸翔合同法律事務所
北茨城九条の会	全日本年金者組合取手支部	美浦平和の会
九条の会・ゆうき	全日本年金者組合龍ヶ崎支部	美和・緒川・御前山平和の会
9条の会とうかい	全日本年金者組合鹿行支部	守谷平和の会
荃崎平和の会	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟茨城県本部	結城平和委員会
建交労茨城県本部	筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会	鹿行9条の会
原水爆禁止茨城県協議会	筑波研究学園都市平和委員会	鹿行地域労働組合総連合
県南農民組合	つくば市平和委員会	鹿行農民組合
県南民主商工会	つくばみらい平和の会	鹿行民主商工会
憲法9条の会つくば	土浦革新懇	鹿行民主商工会婦人部
憲法九条牛久の会	土浦平和の会	百里弁護団 一般社団法人百里の会



自衛隊は憲法違反
百里農民の信念を引き継ぐ
 ここ百里ヶ原に明治時代に入植した農民は、稲作には適さない荒地を手作業で開墾しました。やがて「天皇陛下のために、一週間後に立ち退け」と言われ、海軍航空隊の基地として接収されました。戦後は満州から引き揚げてきた人々が開拓農民として入植し、地元の農民とともに「基地」を農地に变えて食しながらも平穏な日々を送ってまいりました。ところが一九五六年、航空自衛隊基地の誘致が起ころと事態は一変しました。農機具ひとつなく来年の種まで食べてしまう程に困窮していた農民の中には、政府の買収工作によって、土地を売り、百里を去っていく人もいました。しかし、「戦争のために土地は売らない」と決意した農民とそれを支援する「一坪地主」運動が全国に広がりました。
 「基地」建設に反対する農民は、憲法九条に反する自衛隊基地建設は無効であると、一九五八年から「百里裁判」をたたかいました。最高裁は三一年後の一九八九年、憲法判断を避け、上告を棄却しました。この間、百里基地反対連絡協議会がつくられ、裁判を支援しました。
 「百里基地」反対運動は、「自衛隊は憲法違反」の看板を設置し、「一坪地主」運動の方で誘導路を「くの字」に曲げさせ、今日に至っています。
 一九五八年以来、毎年「初午祭」を開催し、二度と戦争を起させない決意を新たにしました。私たちは、平和的生存権を脅かし、憲法九条二項の「陸海空軍その他の戦力」に当たる自衛隊は違憲であるという百里農民の不動の信念を引き継ぎ、ここ百里平和公園の地に日本国憲法前文と九条の碑を建立するに至りました。
 建立に際しては、多くの団体・個人の賛同を得ました。
 二〇二四年二月一日
「百里・憲法九条の碑」建立実行委員会



「百里・憲法9条の碑」建立実行委員会

百里基地反対同盟 百里弁護団 百里平和委員会 一般社団法人百里の会 日本山妙法寺
 阿見町九条の会 石岡地域9条の会 鹿嶋九条の会 かすみがうら9条の会 九条の会・ゆうき
 憲法九条牛久の会 憲法9条の会つくば 憲法九条の会土浦 取手九条の会 那珂九条の会
 自由法曹団茨城支部 弁護士法人水戸翔合同法律事務所 農民運動茨城県連合会
 茨城県平和委員会 茨城平和擁護県民会議 茨城県平和フォーラム 原水爆禁止茨城県協議会
 新日本婦人の会茨城県本部 茨城県労働組合総連合 日本国民救援会茨城県本部
 茨城県民主医療機関連合会 茨城県商工団体連合会 全日本年金者組合茨城県本部
 新社会党茨城県本部 社会民主党茨城県連合 日本共産党茨城県委員会

◆問合せ先◆ 「百里・憲法9条の碑」建立実行委員会事務局（一般社団法人百里の会）
 水戸市見川5-127-281「百里の会」気付 電話：080-9457-6381 メール：hyakurip@gmail.com